



開校51年目

# 七小だより

令和5(2023)年11月30日

国立市立国立第七小学校

校長 小畑 行広

NO. 8 12月号

## 対話の大切さ

副校長 大貫 志香

オータムフェスティバル当日の朝、体育館前を掃除する教職員の姿がありました。それは、係の仕事でも、担当の仕事でもなく、自ら考え動いてくださる七小の教職員の姿でした。本当に『素晴らしい』『やさしい』と思い、そういう姿を子どもたちに見せることの大切さも感じました。

オータムフェスティバルでは、各学年が、総合的な学習の時間や道徳、国語など各教科で学んだことを一生懸命伝えることができました。二週間という練習期間でしたが、子どもたちは抑揚をつけた言い方や静と動を活かした動きを使い分けて、自分の思いを発信していました。また、通常学級もくみ学級も一緒に練習し、1つの劇を創り上げ、児童鑑賞日では、舞台袖に戻る子に「上手に言えたね!」と嬉しそうに褒め合う姿も見られました。



オータムフェスティバルで、先生方が大切にしていたことは、子どもたちが自分のこととしてテーマを受け止め、それを自分なりに発信していくことでした。そして、そのためには「普段の生活によくある場面をどのように取り入れていくか。」「子どもたちが自分たちで考えた場面を入れるためにどんな計画をたてたらいいか。」「発表することを苦手だなと感じている子どもが参加しやすい手立ては何か。」など、児童の学びを主体的な学びにしていくために、たくさんの対話を重ねていました。先生方のたくさんの仕掛けや手立てにより、オータムフェスティバルに向かった2週間という時間は、個別最適な学びに向かうすてきな学びの時間にもなりました。教職員同士や子ども同士で対話したり、先生と子どもでたくさんの対話を繰り返したりしながら練習に励んだことで、一人一人の成長に繋げていくこともできました。



保護者鑑賞日の午後には、学校評議員会も行われました。評議員からは、教職員へのあたたかいお言葉や子どもたちの堂々とした演技を見て感動したというお話をいただき、子どもたちや教職員の励みとなりました。また、朝の登校時の子どもの様子や国立市のフルインクルーシブ教育について、学校評議員会でもたくさんの対話が行われました。と、いっても、対話しようと言って対話をしたのではなく、互いの考えを伝えあっているうちに「そういうことなのか。」と理解を深めたり、新しい考え方を知ったりすることで、自然と対話が始まりました。私は、対話している時間がとても楽しく、対話する大切さを改めて感じました。

オータムフェスティバルで、ある学年の演目で、心に残ったセリフがありました。

『分かるわけじゃないじゃん。人の気持ちなんて…。でも、分かろうとすることが大切なんじゃないの。分からないからって、扉を閉ざすんじゃなくて、分かろうとする気持ちがあれば、解決の道が開けるかもしれない。』……みなさんは、どんな言葉が心に残りましたか？

## ～オータムフェスティバル～

文化的行事委員会

今年度のオータムフェスティバルは、様々な学習の中で学んできたことをテーマにしながら、『声を合わせ、心を合わせる』ことを大切にして取り組んできました。コロナ禍の生活によって、大きな声を出す気持ちよさや、声を合わせる楽しさをほとんど経験してこなかった子供たちです。児童鑑賞日、体育館に全校児童の声が響き渡った時、涙が出そうになった教職員も少なくなかったはず。でも、児童鑑賞日の発表が始まってしばらく経つと、激しい雨音が。一生懸命出していた声もかき消されがちでした。

青空の広がった保護者鑑賞日。どの学年もこれまでで最高の声を出せたのではないのでしょうか。声が響き合い、心も響き合ったように感じました。保護者の皆様、地域の皆様、当日来られず遠くから応援して下さった皆様の心にも響いたことでしょう。何より、楽しかったですね！今日も廊下であの鼻歌が…。

## ～スマイリーサポートについて～

特別支援教育コーディネーター

国立市の小、中学校の通常の学級では、学校生活を送る中で何らかのニーズがある、という子供たちに、学級の中で個別の支援をするため、特別支援教育指導員（スマイリースタッフ）が配置されています。

### ※1 何らかのニーズとは…

「読み書きが苦手」「特定の教科が特に苦手」「集中することが苦手」「集団に入りたいのにうまくできない」「友達との関係がうまく築けない」など、学習面や生活面、対人関係面でサポートを必要とする場合です。

### ※2 個別の支援とは…

何らかのニーズがある子には、何らかの特徴があって、学びにくさ、一緒に活動することの難しさがあります。それがどういうものを始めに実態把握し、それぞれの子供の能力や特性に応じて、そっと声かけをしたり、アドバイスをしたりして、生き生きと楽しく学校生活が送れるように支援します。

### ☆サポートの内容例

- 一斉授業の場面で、個別に教えてもらったり、スマイリースタッフに質問したりすることができる。
- 文の読み上げ、書き始めの代筆、書きやすいマス目の用意をしてもらうことができる。
- 自分の言いたいことをもっと上手に表現できるサポートを受けることができる。
- 大事なところに注目するときに促してもらうことができる。



このような支援を受けることで、「できた」「わかった」を増やし、自信を付け、積極的に授業に参加できるようにします。また、「どのようなサポートが自分にとって必要か」を知り、自らスタッフに聞いたり、自分で言動をコントロールしたりする方法を学んでいくことで、自立する力を付けていくことができるようになります。

☆具体的なサポート方法、支援開始までの手順、その他何かご質問があれば、いつでも担任や特別支援教育コーディネーターまでおたずねください。



## 12月の予定



日	曜	朝/時程	学校行事等
1	金	元気アップタイム	邦楽鑑賞教室(6年) 保護者会(34年)
4	月	全校朝会	保護者会(56年くろみ) 縦割り班活動(赤)
5	火	朝読書	校外学習(2年:中央図書館) 縦割り班活動(緑) 幼保小連携東保育園との交流(5年)
6	水	特	
7	木	特	避難訓練(始業前)
8	金	特	避難訓練予備日 議会見学(6年)
11	月	ステップタイム	安全指導 くろみ個人面談始(~21日) 縦割り班活動(青) PTA 運営委員会
12	火	特	大掃除週間(~19日)
13	水	特	
14	木	特	
15	金	特	午前授業 きこえとことば指導終 研究授業(2-2のみ5時間授業)

日	曜	朝/時程	学校行事等
18	月	全校朝会	委員会活動⑧ はばたき指導終 弁護士によるいじめ予防に関する教育(6年)
19	火	ステップタイム	
20	水	特	
21	木	特	給食終
22	金	特	午前授業 終業式リハーサル(中休み)
25	月	特	午前授業 終業式

※冬季休業 12/26(火)~1/8(月)



## 1月の予定



9	火	特	午前授業 始業式
10	水	特	午前授業 発育測定(全)
11	木	特	午前授業 給食開始